



船橋市議会議員（市民共生の会）

浦田秀夫通信

自宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL・FAX 047- 466-6019

事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL・FAX 047- 461-1350

123号（2018年春季）

メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ浦田秀夫で検索

学校トイレ洋式化、公約通り実行せよ

市の新年度の予算などを審議する平成 30 年度第 1 回定例市議会が開かれました。市民共生の会は一般会計は、子どもの貧困対策の拡充や入札制度の改善などを評価し、国民健康保険事業会計では脳ドッグ助成制度の新設などを評価して賛成しました。

学校トイレの洋式化について、選挙公約や議会での答弁通りにトイレの洋式化を実行することを求め、ごみ収集回数の見直しについては、時間をかけて市民の理解と合意を図ることや、説明会終了後再度アンケート調査を行い、実施時期を判断するよう求めました。

トイレ洋式化ゼロ予算

市長は、学校校舎の耐震改修工事が平成 27 年度に完了したことから、平成 28 年度から 10 カ年計画でトイレの洋式化を進めることを明らかにし、昨年 6 月に行われた市長選挙で「トイレ改修など教育環境を大幅に充実します」と公約しました。

平成 29 年度補正予算で 1 校分のトイレ改修費が予算化されましたが、平成 30 年度は予算化されませんでした。

これは、市長の公約や議会答弁から大きく後退するもので、私達だけではなく児童・生徒や父母の期待と信頼を裏切るものであると厳しく指摘しました。

市は、財政が厳しい中、安全性の高い外壁・防水工事を優先させたと答弁しましたが、トイ

の改修と外壁・防水工事は同時に行うと言うのが市が議会に説明した方針でした。

また、財政が厳しいと言いますが、トイレ改修を含む学校施設整備に 10 年間で

約 208 億円かかることは、将来財政推計に織り込み済みのものでした。

トイレの洋式化は子どもたちが快適に用を足せ、災害時も高齢者などが使いやすい上、衛生面でもメリットが大きいものです。

市長に対し、公約や議会での答弁通りにトイレの洋式化を進めるため、今年度中に補正予算を組むことを強く求めました。



市のトイレ改修計画（平成 29 年 4 月 1 日）29 年度までは実績、30 年度以降は計画

30 年度は 17 系列の計画であったが、予算措置はゼロ

年度	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	計
改修系列数	16	16	17	19	18	18	18	18	18	12	170

ごみ収集回数の見直しは市民の理解と合意で

議会軽視の既成事実の積上げ

市は、ゴミ収集回数の見直しについて、議会で議論している最中に、関連する予算や市民からの陳情が議決されていない中で、市の広報や「リサちゃんだより」「家庭ごみの出し方」に「10月1日からごみの収集回数が週3回から2回に変わります」と既成事実のように掲載しました。

既成事実をどんどん積み上げていくこうしたやり方は、地方自治の二元代表制をまったく理解していないやり方で議会を軽視するものであると指摘しました。

若い世代に不便を押し付け

平成28年6月に市が行ったアンケート調査によれば市民の意向は、ごみの減量やリサイクル、分別収集については高い関心を示している一方で、ごみ減量の方法としての収集回数をへらすことには反対が多数というものでした。

収集回数を見直しは、ごみ減量化の一つの方法かもしれませんが、若い世代に不便を押し

し付けるのではなくその前に分別収集・リサイクルの徹底、事業者の6割りが家庭系ごみとして出していることの

改善、メーカーや流通関連企業、販売店などに對して過剰包装を止めるよう指導、規制することを求めました。



ごみ減量化は市民との協働で

市が決めた方針を説明し、理解を得るというやり方ではなく、ごみ減量について、広く市民の意見や提案を聞く、市民と同じ目線で議論し、市民との協働でごみ減量化を実現する姿勢を持つべきで、10月からの収集回数見直しありきではなく、時間をかけて市民との合意形成を図るよう求めました。

今後行う説明会の後に再度アンケートを実施し、市民の理解と合意を確認し、その結果を踏まえて実施時期を判断することを強く求めました。

市政アンケートに寄せられた主な意見

「周りの方も皆反対しています。家族が多いとごみも多く、特に生ごみが週2回だと臭いもするので困ってしまいます。収集変更、考え直して欲しいです。」(30才女性)

「週2回の場合、おむつや生ごみの臭いがすごく、一度に出す量が増えるため収集日を1回逃すと1週間分のごみをためて置くことになるので困る」(30才女性)

「紙おむつの処理など夏はとても不衛生になる。家庭系ごみとして事業者の6割が出していることは知らなかった。ごみ減量は家庭ごみと事業系のごみを分けて処理することが先だ。」(50代女性) などです。

介護保険料は月額340円値上げ

昨年(平成29年)の第4回定例会での介護保険事業計画概要の説明では、保険料は基準額で月額5,000円後半と試算していましたが、340円値上げの5,300円になりました。

これは、平成30年3月末時点での残高見込み額24億1,000万円の内、23億3,200万円を取り崩して保険料軽減に充てた結果です。

新聞報道によれば、主要74自治体の6割が

6,000円以上になるとのことで、船橋市の5,300円は千葉市や千代田区と並んで最低の保険料となっています。

保険加入者の内、世帯全員が市民税非課税世帯の方が全体の約3割を占めています。

船橋市はこれら低所得者に対する保険料軽減を国の制度に上乗せして実施していますが、さらなる保険料軽減を行うことを求めました。

新年度予算で実現しました

子どもの貧困対策を拡充

ソーシャルワーカーの配置

子どもの貧困対策として、市は新年度からスクールソーシャルワーカーを教育センターに5名配置します。



これまではスクールカウンセラーの全校配置などによって不登校問題などに対応してきました。

しかし、子ども自身の問題だけではなく、家庭を含めて子どもを取り巻く環境に働きかけて問題の解決を図るために、教育分野に加え社会福祉に関する専門的な知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置するものです。

就学援助費の拡充

就学援助費の拡充は、新たに中学校のクラブ活動費が対象になりました。

低所得世帯の保護者に対し、部活動に必要な用具の購入費などについて29,600円を限度として実費分の援助を行うものです。

学習支援事業の拡大

学習支援事業の拡大は、生活保護世帯や生活困窮世帯、ひとり親世帯などの中学生に対し学習支援を行っていますが、高校に進学した生徒に対し、進学後の状況確認や面談を実施し、学習意欲の継続につなげるものです。

子どもの貧困の実態調査

新年度子どもの貧困に関し、新たな施策や対策の方針を検討するため、支援が必要な子どもや家庭の実態把握や支援ニーズの調査を行います。

児童扶養認定世帯4,300世帯と18才未満の子どもがいる4,000世帯を抽出し、アンケート方式による調査を実施します。

実態調査に基づいて、子どもの貧困対策をいっそう拡充することを求めました。

脳ドック費用助成

脳ドック費用助成については、昨年の決算委員会総括質問で取り上げ、新年度からの実施を求めたものです。



市は検討中である旨の答弁を行いましたが新年度、脳血管疾患の早期発見に有効な脳ドック費用助成を新たに実施します。

対象は、40歳から5歳刻みで助成額は10,000円で1,050人の受診者を見込んでいます。

脳ドックを助成対象にしたことは、評価しましたが、助成額は費用の3分の1程度です。人間ドックも含めて、助成額を他市並みに費用の3分の2程度に引き上げるよう要望しました。

入札制度の改善

市は、平成30年度から予定価格2億5千万以上の建設工事について、入札予定価格を現在の事前公開から事後公開にするなど入札制度を改善することを明らかにしました。



入札予定価格の事前公開は、職員が入札予定価格を業者に漏らす官製談合を防止するものでしたが、現在では競争を制限し落札価格を高止まりにしている要因の一つとなっています。

しかし、千葉県や千葉市で官製談合が明らかになっています。入札予定価格の事後公開は再び官製談合を生む原因ともなります。

官製談合を防止するための職員に対する研修や情報管理が肝要となります。これらのことを含めて官製談合防止策をしっかりと講じることを求めました。

市は、4月に公正取引委員会から講師を招き官製談合防止をテーマに研修会を開催することや官製談合の発端となる不当な働きかけに対する対応について改めて周知すると答弁しました。

動物の愛護・管理に関する

法律改正の意見書を採択

動物の愛護及び管理に関する改正法律が平成 25 年 9 月に施行されて自治体における犬猫の殺処分の減少



をもたらしましたが、動物取引業者による大量生産、大量販売の構図は変わっていないことから、動物購入者の苦情、飼育放棄、遺棄などの問題を引き起こしています。

また、動物虐待について現行法は目に見える抑止に結びついていません。

平成 30 年度に予定されている法律改正について、インターネットや移動販売の禁止、動物虐待に対する罰則の強化、動物実験施設の自治体職員の立ち入り検査を可能にするなどの改正を求める意見書です。

市民共生の会の議員など発議し、公明党、民進党、船橋清風会などの賛成多数で採択されました。

特養ホームは 290 床整備

第 7 期介護保険事業計画（平成 30 年～32 年）では特別養護老人ホームの整備計画は 290 床となっています。



市は、要介護 4 と 5 に加え、要介護 3 で一人暮らしや高齢者世帯の方、病院や老人保健施設で特養を希望している方が入所できる計画となっていると説明しました。

しかし、第 6 期計画では 240 床が整備されてもこれらの方々の待機は解消されませんでした。

市は、平成 29 年第 1 回定例会で私の質問に対し「これらの要因をしっかりと分析して次期介護保険事業計画では、平成 29 年度に行う実態調査に基づいて必要となる整備数を精査し計画を策定したい」と答弁しました。そうした計画になっているのか質しました。

市は、施設入所の必要性が高い高齢者の方は概ね入所できる計画となっていると答弁しました。

ペシャワール会支援

中村哲 医師 講演会



日時 6 月 10 日 (日) 13 時開演

会場 船橋市民文化ホール

入場料 1,000 円 (前売・当日共)

主催 中村哲医師講演会実行委員会

後援 船橋市 船橋市教育委員会

朝日新聞 毎日新聞 東京新聞他
前売券を取り扱っています。

申込は 466-6019 浦田秀夫まで

日帰りバスツアー募集

南房総漁師料理食べ放題

日程 5 月 20 日 (日)

出発 高根公園駅前

8 時 15 分

参加費 8,000 円

観光コース

はちみつ工房 (試食)

漁師料理たてやま

(昼食・買い物)

アロハガーデン館山

(入場・見学)

道の駅・保田小学校

帰着 18 時 30 分頃

企画 京成トラベル (株)

募集人数 35 人

主催 浦田秀夫と市民の会

参加申込 466-6019 浦田秀夫まで

皆様のご参加をお待ちしています。

